

質問や提言が形になりました

4月から、6歳までの医療費が無償になります

子育て世帯に対する経済的負担や心理的不安を軽減して、子育てしやすい環境づくりを進めるため、本年4月から現行の0歳児から医療費無償化を未就学の6歳児まで拡大します。

市民クラブは、更に高校生世代まで医療費無償化の実現に向け取り組みます。



防災備蓄を活用した生理用ナプキンの無償配布(実証実験)

浜松市は公的施設の女子トイレに生理用ナプキンを無償配布するディスペンサーを設置し、生理に関する困りごと対応の実証実験をしています。そのナプキンは使用期限が迫った防災備蓄品を使っており、備蓄品の流用は市民クラブが本事業に関係する3つの委員会全てにおいて提案し、事業に採用されたものです。



スケートボードパーク整備方針が示されました



2022年実施のスケートボードパーク調査では、現状競技人口はそれほど多くないと推定されました。それを受け、段階的な整備を進める方針となり、導入期では多目的な利用を想定し、既存の公園に平滑な地面を整備し、プレー可能な公園を増やすことになりました。加えて、市街地に近い船越公園、有玉大谷緑地、高丘公園、佐鳴湖公園がパーク新設候補地となっています。



スクールロイヤーが導入されました

昨年4月より教職員が法的観点からの正しい認識と理解を深め、学校現場で発生する様々な問題やトラブルの未然防止及び早期解決を図るためにスクールロイヤーが導入されました。



研修では、教職員の危機管理能力や法的思考力、コンプライアンス意識の向上に資する講義、具体的な問題や課題に対する法的側面からの指導・助言が行われています。

小中学校の特別教室のエアコン設置方針が示されました

昨年11月の市民文教委員会において、2024年12月から2年4カ月の期間にて空調設備が設置されていない市内小中学校129校、特別教室798室(調理に火を使う家庭科室、理科室、音楽室、図工・美術室等)に空調設備等を整備する方針が示されました。今後も、子どもたちが健やかに学べる環境づくりを提言していきます。



公園遊具の破損や不法投棄をLINEで通報が出来るようになりました

道路や水路の不具合により危険を感じたとき、LINEでその場で通報し、修繕を依頼できる「いっちゃお!」は大変好調で通報件数も年々伸びています。

今回、公園遊具の破損や不具合、また不法投棄や、道路上の動物の死骸、盛土の心配などを見つけた場合にも、同様の仕組みで通報し、担当部門に迅速に対応してもらえるようになりました。ぜひご利用下さい。



浜松市の課題解決につなげるため、先進地域を視察しました

姫路市ウォークアブルなまち

2020年度にウォークアブル推進計画が策定され、800m(シンボルロード)先の雄大な姫路城が見える姫路駅の駅前広場に、トランジットモールを含めた歩行者優先のまちが整備されました。



浜松市の中心街においても公共空間はもとより民間支援を含めた「まちなかウォークアブル」を創出できるように提言していきます。

尼崎市 こども・若者政策

市長部局だけでなく、教育委員会、兵庫県、民間など多様な担い手が連携し、子どもから大人まですべての市民の学び・育ちの総合拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」を訪問。子どもの育ち支援、データの利活用、公設民営型フリースクール、ユースカウンスル事業など多くの学びがありました。浜松市におけるこども・若者政策の参考にさせていただきます。



市内視察 たんぽぽ広場

たんぽぽ広場は対人関係の苦手さや言葉の遅れなど発達に課題がある就園前の子どもとその保護者を対象にした発達促進の場です。現在1歳6ヶ月検診でこの広場を勧められる子どもは全体の20%と年々人数が増える中、最近では入りたくてもすぐに入らず入所待機している方も増えています。必要な子が必要な時に支援を受けられるようにたんぽぽ広場の数や人員の見直しを求めています。



意見書を国に提出しました

燃料価格を抑えるための燃料課税制度の見直しを求める意見書

ガソリン価格の高止まりが続いており、自動車が必要な不可欠な地方の自動車ユーザーの負担軽減は喫緊の課題です。ガソリン価格は税金が40%を占めるなど、ガソリン価格の抑制につなげるため「当分の間税率の廃止」と「二重課税の解消」を含めた燃料課税制度の見直しを要望しました。



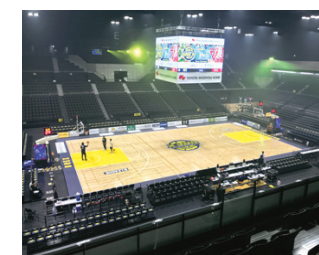
多子世帯への保育料負担軽減策の年齢制限撤廃を求める意見書

現在保育施設の保育料は、多子世帯に対する第2子半額・第3子無償の負担軽減策は設けられているものの、小学校就学した児童は児童数に算入しないこととなっています。そのため、きょうだいの年齢構成によっては負担を感じる世帯が多い実態があります。そこで、現在多子世帯への保育料負担軽減策に設けられている第1子に対する年齢制限を撤廃し、安心して第2子以降も産み育てることができる環境づくりの推進を要望しました。



みるスポーツでの地域活性化

「スポーツ文化都市」を宣言している本市において、とりわけ「みる」スポーツでの地域活性化は伸びしろがあり、期待も大きい。日環アリーナ栃木、横浜アリーナを視察し、「みるスポーツ」目線の競技場はそのスポーツの魅力を増加させる他、付加価値を高める上でも重要である事も確認できました。プロスポーツの支援や誘致を積極的に行い、浜松市の活力向上につながる提言をしていきます。



日環アリーナ栃木



横浜アリーナ

東京都文京区の小学校 体育館エアコンの設置状況

近年の猛暑では、体育の授業を空調の無い体育館で行うことも多く熱中症が心配されています。文京区では、子供の命を守ることを最優先にいち早く体育館への空調設備設置を取り入れており、空調の種類から手法までメリットと課題を伺いました。本市でもスピード感をもって、命を守るため、災害時の避難所としても活用される体育館の空調設備設置を求めています。



乳牛のフンを活用したカーボンニュートラルの取り組み

富士山朝霧バイオマス社では、乳牛のフンから発生させたメタンガスで発電した電気を地域に売電し、その際の残液は有機肥料として牧草地に使用しています。



メタンガス発電機

化石燃料の使用を抑えCO2の削減にも貢献し、酪農農家の環境負担軽減にもなっています。酪農のある浜松市においても活用できるように提言していきます。

浜松市議会 市民クラブ 検索

<http://shimin-club.jp/>



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収へ